

インターネットリテラシー

インターネットにひそむ罠

小学校
高学年

中学生

高校生



あらすじ

インターネットによるいじめ、軽はずみな投稿などの事例を紹介し、これらの事例でどのような問題が発生するかを生徒に考えてもらいます。

その上で、弁護士が、このような事例で発生する法律問題（民事責任・刑事责任）や、被害に遭った場合の救済手段などについて、解説をしていきます。

授業の詳細

- 対象** 小学校高学年～高校生
関連教科 社会科・道徳・国語・特別活動
授業時間 50～100分(1～2コマ)
※プロジェクターを利用できれば尚可

プログラムのねらい

未成年者が加害者・被害者になるケースが後を絶たないインターネット。
 その特性を学ぶとともに、どのような事件が現実に起きて、どのような法律問題が生じる可能性があるかを生徒に知ってもらい、その上で、インターネットの使い方を生徒に考えてもらいます。

授業の流れ

グループディスカッションや発表は、授業時間に合わせて調整していきます。
 みんなで考えを出しあい、話し合うことで、自分の意見を伝える力を伸ばすきっかけにもなります。
 発表の後に、解説を行う時間があります。

授業のガイダンス

事例の紹介

グループディスカッション

各事例においてどのような法律問題が発生するか、どのような救済手段をとり得るかなどについて各生徒に考えてもらう。

発表

グループごとに発表してもらう。

解説

発生する法律問題やとり得る救済手段など。